

ANNUAL Report 2024-2025

2024年度 活動レポート



世界YMCA Vision 2030



各地で頻発する紛争、気候変動、貧困問題など、世界規模の課題が山積する中で世界のYMCAは2022年夏、「世界YMCA Vision2030」を採択しました。下記の「4つの柱」で構成されるこのビジョンは、国連の持続可能な開発目標「SDGs」とも連動した行動目標で、YMCAのグローバル・ネットワークを活用し、世界の課題を解決していくことを目指しています。



Community Wellbeing

01 コミュニティー ウェルビーイング

ポストコロナの時代にすべての人が、個人と集団のウェルビーイングを大切にしながら精神、知性、身体
のバランスの取れた成長ができることを目指す。



Meaningful Work

02 やりがいのある仕事と雇用環境の創造

すべての若者が価値のある有意義な仕事に従事し持続可能な生活を築けるよう、公正かつ公平な教育、
雇用、トレーニングの機会を創出し提供していく。



Sustainable Planet

03 持続可能な地球のために

気候変動に対する若者の高い危機意識と積極的な発言から、若者主導による持続可能な地球のための
解決策を推進し、気候変動に取り組む運動体になることを目指す。



Just World

04 公正な世界の実現のために

正義、平和、公正を求め、すべての人の人権を守ろうと努める若者やコミュニティと共に歩む。組織的な差別、
不公平、不正などあらゆる種類の人種差別の課題においてグローバルな発信者となることを目指す。

YMCAブランド コンセプト

Vision

YMCAが実現したい世の中の姿

互いを認め合い、高め合う

「ポジティブネット」のある豊かな社会を創る。

Positive Net

互いの存在や個性を認め合い、高め合うことのできる、
善意や前向きな気持ちによってつながるネットワークのこと。

Value

YMCAがステークホルダーに提供を約束する価値

したい何かがみつき、誰かとつながる。

私ができる、かけがえのない場所。

みつかる つながる よくなる
Encounter Connect Transform

Personality

～ YMCAが備えているべき個性・らしさ～

心をひらき、わかち合う。

前向きで、まわりを惹きつける魅力を持つ。

Open & Sharing. Proactive & Attractive

ごあいさつ



神戸YMCA 会長
中道 基夫



神戸YMCA 総理事
小澤 昌甲

2025年は戦後80年、阪神淡路大震災の発災から30年の節目を迎えます。私達はその歴史の中から「共に助け合う心」や「共に生きる人々の姿」を思い返します。

現代は少子化が加速し、人口減少が続く中であっても、子どもや家族、若者のニュースを聞かない日はありません。又災害や気候の変動が続く中で、経験したことのない不確かな時代を歩んでいるとも言えます。私たちは会員の皆様、ワイズメンズクラブの皆様をはじめ、使命を共にする世界、日本のYMCA、地域のNGO・NPOの皆様との連帯の中で、人々の平和を願い、共に生きる社会を目指します。そのために2030年を見据えた「神戸YMCA VISION2030」第1期中期計画を策定し、今年はその最終年度を迎えます。過去を評価し、変動する社会を見つめ、2030年のビジョンを策定し、その歩みを強固なものとしていきます。次代を創るのは、子ども・若者、そしてボランティアであることを再認識し、会員、地域の皆様と共に活動を通じて歩んでいきます。2025年もご支援、ご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

YMCAのロゴマークに込める思い



YMCAの正章

YMCAは1844年にロンドンで設立されました。シンボルマークの正三角形は、YMCAの人間観であるSpirit（精神）Mind（知性）Body（身体）の調和がとれた「全人としての成長」への願いを表しています。また、中央にJOHN17:21（ヨハネによる福音書17章21節）「すべての人を一つにしてください」と記されており、国、民族、宗教、性別の隔たりを超えた、共に生きる社会を作り出すことへの願いが示されています。



日本のYMCAのロゴマーク 「ポジティブY」

鳥が飛び立つ瞬間の姿をモチーフに、生命の息吹、未来へ向かう力、平和への想いを表現。アルファベットのYをかたどりながら、新しいスローガン「みつかる。つながる。よくなっていく。」の3つの価値と、正章に示された「精神、知性、身体」を内包する構成になっています。

神戸YMCA2025年度年間聖句

「あなたがたは世の光である。」

[マタイによる福音書5章14節]

神戸YMCA中期計画 VISION2030

<私たちの使命>

私たちは、すべてのいのちが尊ばれ、互いに支え合う平和な社会を創ります。

<私たちの願い>

私たちは、世代を超えた人々が出会い、つながり合う場をつくり、日本YMCA基本原則に基づき豊かな未来を創造する責任ある人を育てます。

<使命実現のための柱>

- ◆未来を創る子どもたちの育ちを支えます。
- ◆若者のつながりと関わりを拓けるプラットフォームの場をともに創ります。
- ◆ポジティブネットのある豊かな社会を目指します。
- ◆未来の社会への責任を担います。

第27回 中・西日本YMCAユースバスケットボール大会

2月8日(土)・9日(日)、西宮市のLife partner Arena～兵庫県立総合体育館～に於いて「第27回 中・西日本YMCAユースバスケットボール大会」を開催しました。今大会を主管した神戸YMCA、大阪YMCA、和歌山YMCAからメンバー・リーダー約200名が参加し、1泊2日を共にしながら交流を行いました。開催中は試合だけでなく、YMCAが大切にしている「4CD」(CARING(思いやり)・HONESTY(誠実さ)・RESPECT(尊敬心)・RESPONSIBILITY(責任感))プログラムを「言葉」に着目して実施しました。

メンバー・リーダーOBや元職員の方々、たくさんの方のご協力により、無事に終わることができました。例年同様、YMCAのつながりを強く感じられる大会となりました。また大会を通して、開催までの準備をサポートしてくださった方、それぞれの部署で留守を守ってくださった方など、多くの方々に支えていただいていることを、メンバーと共に改めて感じました。ありがとうございました。



神様にふれるとき

6月、西神戸YMCA幼稚園で聖書のおはなしをしてくださる柳本和良先生のおられる日本基督教団鈴蘭台教会へ年長児が訪問させていただきました。

おうちのベランダやお庭に咲いたお花を持ち寄って「花の日礼拝」を守りました。バスを降りて教会の中に入ると、教会の持つ温かい雰囲気がかももたちの身体を包み込み、こどもたちは静かに席に着いていきました。美しいステンドグラスの光が温かさを増していました。「父、子、聖霊の交わりがこれからも豊かにありますように。アーメン。」柳本先生から一人ひとり頭に手を置いていただき、祝福を授かりました。

一人ひとりはお父さん、お母さん、神様から愛され見守られている大切な存在です。こどもたちにとって、神様をより近くに感じられた礼拝だったのではないのでしょうか。良い機会を与えていただき、柳本先生をはじめ、教会の方々にも感謝いたします。ありがとうございました。



一人ひとりを大切に

西宮YMCAでは、2歳児から就学前のこどもたちを対象とした「児童発達支援事業まめの木」、小学3年生から高校生を対象とした「発達支援事業サポートプログラム」を行っています。それぞれのプログラムでは、運動遊びやことば遊び、ルールのあるゲームに取り組んだり、ことばの学習、ソーシャルスキルやコミュニケーションスキルを学んだりしています。さまざまな年齢のこどもたちが集まる会館では、「いっしょにあそぼ」「みてみて～」「リーダーできたよ!」「そうそう、学校でさあ?」と、いろいろな声が聞こえてきます。

こどもたちと過ごしていると、大人だけでは気づかなかったこと、知らなかったこと、思いもよらなかったこと……など、こどもたちからたくさんの気づきや刺激をもらいます。こどもたちの視点、素直さや柔軟さを大切にしたいと心から思います。

これからも、こどもたち一人ひとりの存在を大切に、YMCAに来たら楽しくて元気になれるような…、ある時には、ほっと安心することができるような…、そんな場所でありたいです。



2024年度のあゆみ | 2. 若者の繋がりと関わりを拡げる プラットフォームの場をともに創ります。

キッズダンスジュニアボランティアリーダー

ウエルネスセンター学園都市には、3歳児から中学生までを対象としたキッズダンスと、中学生以上を対象としたAdvanced Danceクラスがあります。

キッズダンスを中学3年生まで11年間続けたのち、ジュニアボランティアリーダーとして週2回、「ダンスの楽しさを伝えたい」と通う高校生がいます。伝える側に立ってはじめてその難しさを感じながらも、こどもたちに寄り添い成長を喜んでいます。

そんな彼女の姿を見ている後輩たちは、同じように仲間たちに優しく接しています。踊りながら目くばせをしたり、難しいステップと一緒に練習する姿は、まさに「明日の指導者は今日つくられる」という言葉を想起させます。彼女自身もAdvanced Danceクラスで、ダンスの楽しさを先頭に立って表現しています。

8月3日(土)には、メリケンパークで開催された「おいしフェス with きららマルシェ in 神戸2024～Summer Special!～」に参加しました。AdvancedDanceクラスのほか、3歳児から50歳代までの多世代が共に大きな舞台に立ち、ダンスを楽しみました。



学院祭 つながる時

10月19日(土)に西神戸YMCA学園都市会館で「ワイワイまつり」が開催され、高等学院も学院祭として参加しました。今年は雨が降っているにもかかわらず、地域のこどもたちから高齢者までたくさんの人に足を運んでいただき、出会いと交流のにぎやかな一日になりました。

高等学院はハンドゴルフ、ストラックアウト、わなげに射的と、ゲームコーナーを出店。小さなこどもたちだけでなく、小学生から大人の方まで楽しんでもらえるように、射的の銃を打ちやすく改良したり、難易度の高いストラックアウトを用意したり。景品に手作りのめりえや折り紙を用意するなど、各学年で工夫を凝らして準備しました。また、大勢の卒業生たちも訪れ、近況を知らせに来てくれたり、高校時代の懐かしい思い出話に花を咲かせたりしていました。

多様な人々が集う西神戸YMCAだからこそ得られる手ごたえ、連帯感があります。この小さな社会の中で知識や経験を積み、次の道へと歩み出す生徒たちをこれからも応援しています！



中高生も利用できる児童館

「児童館(こどもっとひろば)」と聞くと、乳幼児さんの遊ぶ場所、学童保育を行っている場所というイメージを持たれる方が多くいらっしゃるのではないのでしょうか。しかし児童館は「0歳から18歳まで」利用可能な施設です。最近の太山寺児童館には、中学生がよく遊びに来てくれます。

自分たちのしたい遊びをする以外に、学童の子どもたちと遊んでくれることもあります。学童の子どもたちに「〇〇ちゃんに来てる! あそぼ〜!」と言われて一緒に遊んだり、時には「今日は〇〇ちゃん来てるの?」と学童の子どもたちと遊ぶために中学生が来てくれることもあります。

これからの児童館は、中高生にとっての居場所となることも求められていきます。したいことがあるから児童館に行くことも大切ですが、仮にしたいことがなくても近くにある児童館へ行き、そこで人とつながりながら、したいことを見つけ、自分にとって居心地の良い場所にしていく。そんな「居場所」を中高生、地域の方々と共に作り上げていくことができればと思います。



能登半島水害ボランティア活動

2024年1月1日に発生した能登半島地震からもうすぐ1年になります。被災地の復興がなかなか進まない中、線状降水帯による記録的な大雨によって9月下旬に引き起こされた水害は、心が締め付けられる出来事でした。

震災当時、能登半島内にYMCAのつながりはありませんでしたが、東京YMCAと富山YMCAが輪島市町野町の避難所を運営させていただいたことにより、地域住民とのネットワークが生まれました。9月に水害が起きたときは被害を受けた方々の顔がすぐに思い浮かび、全国のYMCAからボランティアを募りながら現地で活動を行いました。神戸YMCAからも2人のボランティアを派遣いたしました。

皆さまからご支援いただきました能登半島地震緊急支援募金、能登半島豪雨緊急支援募金はこれらの活動に用いられております。多くの方々にご支援いただけましたことを感謝申し上げます。

2025年1月17日には阪神・淡路大震災から30年の節目を迎えます。日本に限らず世界各国で自然災害が起きています。今私たちにできること、これから私たちがするべきことをYMCA会員の皆さまと一緒に考えていきたいです。



インターナショナル・チャリティーラン開催

11月4日(祝・月)に、しあわせの村にて「第26回神戸YMCAインターナショナル・チャリティーラン2024」を開催し、無事に終わることができました。今回は「YMCAインターナショナル・チャリティーラン全国大会委員長」に就任されたパリ2024パラリンピック競泳メダリストの富田宇宙さんも参加され、大会を盛り上げてくださいました。

今年度も午前中だけの開催で、「1/10マラソン」「1.2kmウォーキング」「1/100マラソン」の3競技を行い、361名の参加がありました。オリンピックをモチーフにした衣装や、お姫様、チャリティーラン名物となっている「なすび」の扮装など、さまざまな仮装での参加があり、ランに参加された方、応援される方、ボランティア、コースリーダー、ワイズ、スタッフを合わせると、500名ほどの方がこの大会をお支えくださいました。

多くの皆さまのご協力とご支援で、障がいのある子どもたちを応援できることを心より感謝申し上げます。チャリティーランの収益は全国のYMCAで、心身に障がいのある子どもたちの支援のために用いさせていただきます。



街頭募金活動

2024年12月8日(日)、大丸神戸店前にて街頭募金活動を行いました。皆さまのご理解とご協力により、60,946円もの募金が集まりました。街頭募金活動にご協力いただき心より感謝申し上げます。

当日は31名の方々にご参加いただき、街頭でYMCAの国際協力募金をアピールしてきました。参加者の年齢は3歳からシニアまで。国籍は日本・ミャンマー・インドネシア・中国・台湾。街頭に立っていた私たちのグループを一言でカテゴライズするなら、「小さな社会」だったのではないのでしょうか。「ミックスなグループ」×「国際協力募金」×「YMCA」。この3つのキーワードで今年も多くの方々に街頭で募金をいただくことができました。



ウエルネス業界セミナー

8月と9月に、大学生を対象とした「ウエルネス業界セミナー」を実施しました。主に3回生が参加され、「ウエルネス」という生き方に関する議論を交わしました。私たちを取り巻く環境が、身体的、精神的、社会的な側面から個人にどのような影響を与えているか、また、ヘルス、フィットネス、ウエルネスという健康観の変遷とその社会的背景などを共に学びました。

さらに、参加者の皆さんと今の自分のウエルネス度チェックを行いました。ウエルネスという生き方の実践を6つの領域で捉えて、レーダーチャート化する実習です。自分自身への興味が高まった学生もいれば、他の学生の結果が気になる学生もいました。結果をもとにしたフィードバックの場を設けて、さらに議論を深める機会となりました。

YMCAは、自分の人生を主体的に楽しむ人々と伴走しています。また、その伴走者（指導者）を育成することもウエルネスの大切な働きです。セミナーは1月、2月にも実施します。学生の皆さま、お待ちしております。



YYYフォーラム～あの日から30年・ロールプレイングを通して～

「あの日」と言われて、皆さんは何を思い出しますか。「その日」が1月17日であれば、多くの方は「阪神・淡路大震災」を想起されるのではないのでしょうか。

1月18日（土）に「あれから30年。『みつかる。つながる。よくなっていく。』社会を目指して」と題し災害について考えるYYYフォーラムを、こうべまちづくり会館で行いました。三宮会館外での開催でしたが、YMCAの関係者のみならず一般の方もおられ（石巻から駆けつけてくださった方も！）、総勢44名の参加でした。

グループワークは、クジを引いて出た役（SNS好きの来日2カ月の10歳の外国人etc.）になりきり、さらにさまざま個性のある役がその場に集い、一つの家族という集合体を形成し、災害時を想定した場面でどう対処するかを考えるロールプレイングでした。また、自分たちの家族で困る状況を想定し、隣の家族はどう対処するのかを問うという問題提起もあり、趣向が凝らされたものでした。それゆえ、より多くの方に参加いただきたく、告知方法の再考が必要だと感じました（皆さんのアドバイス募集中！）。



ピンクシャツデー

ピンクシャツデーは、カナダで始まった「いじめ反対」の意思表示をする啓発活動で、YMCAでも毎年この活動に取り組んでいます。神戸キリスト教青年会国際委員会では、いじめは『違い』を受け入れられないことから生まれるものと考え、職員、ボランティアリーダー、ワイズメンに、『違い』と出会ったときに感じた気持ちを共有する機会を作ってもらうことを提案しました。

この取り組みを実施したある部門では、「思っていたことを話せてよかった」「『違い』は必ずあるが、その『違い』を否定せず思いやりや尊敬をもって関わりたい」という声がありました。

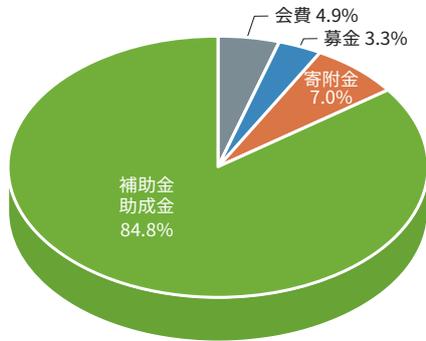
共に活動する仲間と話し合うことは、お互いのことやお互いの考え方などを知る機会にもなります。これからもYMCAに関わるすべての人と共に、日々の対話を大切にしながら、『違い』を乗り越えて活動していこうと思います。



2024年度 神戸YMCAファンドレイジング報告

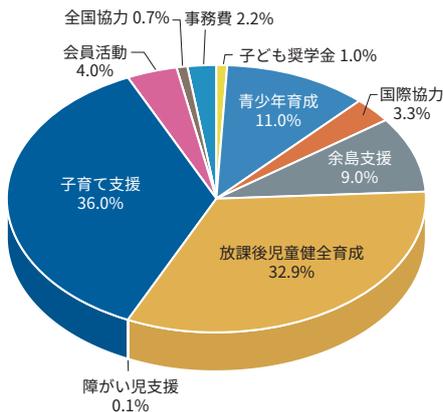
神戸YMCの使命である「すべてのいのちが尊ばれ、互いに支え合う平和な社会を創る」という活動は、広く社会から手を差しのべてくださる方々の会費や募金・寄附・補助金・助成金、協賛金などによって支えられています。

2024年度収入の部



	金額	内 訳
会 費	6,090,000	維持会費 賛助会費
募 金	4,005,799	国際協力募金 災害支援募金(ミャンマーYMCA支援、ウクライナ支援)
寄 附 金	8,603,455	子ども奨学金のために(個人寄附他) 青少年育成のために(ワイズメンズクラブ他) プログラム・地域支援のために(日本語スピーチコンテスト、LD教育支援他) 余島支援のために(よしましよ他) 神戸YMCA運動のために(個人寄附、株式会社上組他)
補 助 金 助 成 金	104,516,787	私立専修学校専門課程振興費補助金・授業料等減免補助事業補助金(兵庫県) 原油価格・物価高騰対策一時支援金(兵庫県・神戸市) ユースプラザKOBE・EAST運営補助金(神戸市) 放課後児童健全育成事業補助金(神戸市) 保育料補助金(神戸市) 小規模保育ルーム関連補助金(神戸市) 地域型学習支援事業補助金(神戸市) Challenged Children Program 助成金(日本YMCA同盟) 狂言助成金(兵庫県国際交流協会) 結核予防費補助金(兵庫県) しあわせの村助成金(こうべ市民福祉振興協会) 余島キャンプ助成金(サントリーHD)
総 額	123,216,041	

2024年度支出の部



	金額	内 訳
子 ども 奨 学 金	1,287,578	経済的な理由でYMCAプログラムに参加が困難な子どもたちのために
青少年育成	13,513,576	ボランティアリーダー育成・派遣のために 指導者養成のために 神戸YMCA学院専門学校で学ぶ青年のために(学生支援・奨学金)
国 際 協 力	4,005,799	国際協力活動のために(東南アジア農村支援、国際活動リーダーシップ養成他) 災害支援のために(能登半島、ウクライナ、パレスチナ他)
余 島 支 援	11,067,000	プログラム支援のために(one camp他) 余島プロジェクト(サントリーホールディングス株式会社との協働)
放課後児童健全育成	40,483,800	放課後の子どもたちの居場所作りのために
障 が い 児 支 援	94,817	障がいのある子どもたちのために
子育て支援	44,362,320	地域の子育て支援のために(小規模保育ルーム等の運営)
会 員 活 動	4,882,863	神戸YMCA会員活動のために(YMCA大会、理事会、評議員会、常議員会、各委員会の開催、チャリティープログラムの開催、フォーラムの開催、神戸青年発行 他)
全 国 協 力	845,000	YMCA全国協力のために
事 務 費	2,673,288	通信費、郵送費、印刷費、広報費等
総 額	123,216,041	

2024年度 ファンドレイジング報告

2024年度中に頂いた会費や募金寄附金により、実施できたことの一部を報告します。

「国際奨学金」受給者の声

カン ヤティ チョー (ミャンマー)

この度は、私にこのような貴重な機会をいただき心より感謝申し上げます。奨学金を受けることで、経済的な不安を抱えることなく、学業に集中することができました。この奨学金が私にとってどれほど大きな力になったかは計り知れません。いただいた奨学金を無駄にすることなく、今後ますます学びを深め、努力を重ねていくつもりです。



チョー ピエピエ ミョー (ミャンマー)

私が初めて参加したボランティアは、YMCAから紹介があった灘チャレンジです。私はこどもと遊ぶのが好きですから参加しました。夏休みは放課後キッズルームに来ている小学生と遊ぶボランティアをしました。YMCAの活動はこどもたちと遊ぶだけではなく、世界の平和のために、こどもたちの勉強したい！遊びたい！という夢を叶えるプロジェクトだとわかりました。私も神戸YMCA学院専門学校日本語学科を卒業後、大学に進学して建築の勉強を頑張りたいです。

モー テュザー (ミャンマー)

国際奨学金を受けることができ、とても嬉しかったです。6ヵ月分の奨学金でしたが、とても役に立ちました。私は、YMCAでいろんな活動に参加しましたが特に街頭募金活動が印象に残りました。世界で様々な困難に直面しているこどもたちのための募金活動は感動的でした。私が世界のためにできることは小さなことかもしれませんが、それでも一生懸命取り組むことの大切さを感じ、とても嬉しかったです。



「子ども奨学金」受給者の声

初めての学校生活が始まり不安も非常に大きい時期からの開始でしたが、常にきめ細やかな子どもたちのかかわりと大きな優しさで包み込んでくださるリーダー方のおかげで、安心安全な居場所としてのびやかに過ごさせていただきました。本人は「ここは自分らしく過ごして大丈夫な場所」と思っているようで、そのような場所としてYMCAに参加させていただいていることを心から感謝申し上げます。大切な仲間と大切な心を持ちながら成長していくことのできた一年間となりました。

(学童保育クラブ参加者保護者)

昨年のYMCAの保育園(年長組)で体験した余島キャンプが忘れられなかった息子が、この夏、再び余島を訪れることができたのは、YMCAの皆様のご尽力があつてのことと感じております。体験した1つ1つのことを上手に話すことが難しい年齢ではありますが、初めてのアーチェリーやカヤックのバランスのとり方、漕ぎ方を細かく話してくれる姿を毎日楽しんでます。本人はもとより親にとっても忘れられない5日間を過ごさせていただきました。余島生活の余韻に浸りながら来年のキャンプを心待ちにしているようで、親としてはこんなに素敵な経験をさせていただけたことに感謝しかありません。

(余島大冒険キャンプ参加メンバー保護者)

維持会員 入会のご案内

神戸YMCAは「私たちの使命」に基づき、世界や地域の抱える多様な社会的課題を解決するため、幅広い活動を展開しています。その活動を支えるのが維持会員です。維持会員はYMCA運動を支える母体として重要な役割を担っています。共に生きる平和な世界を実現するために、一人でも多くの仲間が必要です。ぜひYMCAの活動を維持会員として支えてください。

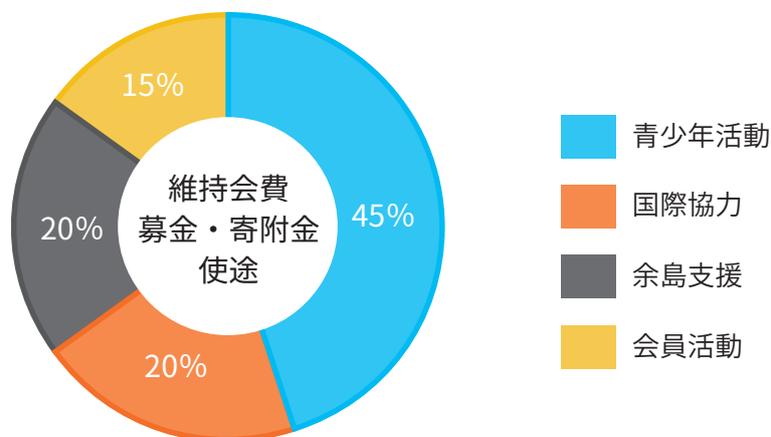
維持会員になっていただく

- ・維持会費を通じて、神戸YMCAが行う青少年の育成や国際協力、地域奉仕活動を支援することができます。
- ・機関紙「TheYMCA」・「神戸YMCA YMCA News (神戸青年)」で、YMCAの活動やプログラムなどの情報をお知らせします。
- ・毎年開催する「神戸YMCA大会」など、神戸YMCAが主催するイベントにご参加いただけます。

入会方法

YMCAの活動に賛同してくださる方であれば、どなたでもご入会いただけます。

- ・維持会費 (年度毎4月～翌年3月)
 - 一口 5,000円
 - ◆ご支援いただける口数をお決めください。
 - ◆口数により維持会員としての条件が変わることはありません。
 - ◆神戸YMCA会員としての会費は寄附金扱いとなり、税制上の優遇措置を受けることができます。所得控除と税額控除のどちらか有利な方を選択することができますが、控除を受ける為の手続きとして確定申告が必要です。詳細は税務署にご確認ください。
- ・維持会費の使途
皆さまからいただいた維持会費、募金・寄附金は次の使途に用いられます。
 - ◆青少年活動 学生支援や奨学金など青少年育成、子ども奨学金、障がい児支援、など。
 - ◆国際協力活動 紛争・災害への支援活動、国際活動リーダーシップ養成、など。
 - ◆余島支援 余島キャンプ場で行うプログラム支援、ボランティアリーダー育成、環境整備費用、など。
 - ◆会員活動 チャリティープログラム、セミナー、会員による会議などの費用、など。



●お問い合わせ

メール kaiin@kobeymca.org

本部事務局 (078-241-7201) または各YMCA (P15各拠点案内) まで、お問い合わせください。

<ワイズメンズクラブとは>

ワイズメンズクラブ国際協会は、1922年アメリカはオハイオ州トレドにおいてYMCAを支援する組織として設立されました。2024年8月の報告では、世界76カ国に1431のクラブがあり、約2万2千人の会員がいます。日本では、1932年に日本区が設立され、1997年に東日本区と西日本区に分かれました。2025年1月現在、西日本区は71クラブ、1213人、六甲部には神戸、西宮、神戸西、神戸ポート、宝塚、学園都市、芦屋の7クラブがあり115人の会員がいます。

<YMCA支援>

ワイズメンズクラブはYMCAを様々な形で支援しています。三宮会館での「秋まつり」では神戸、神戸ポート、西宮YMCA「こどもカーニバル」では西宮、西神戸YMCA「わいわい祭り」では神戸学園都市の各クラブが参加しました。このほか、芦屋クラブは留学生交流会を開いています。第26回神戸YMCA国際チャリティランでは、宝塚クラブが仮装しての参加で会場を盛り上げました。毎年恒例の国際協力街頭募金へも街頭に立って協力しています。このほか、ユースリーダー研修、神戸YMCA/コミュニカ学院日本語スピーチコンテスト等ユースの育ちを支援金の形ですが六甲部をあげて支援しています。YMCA関連児童施設に絵本をプレゼントする「絵本プロジェクト」は今期も継続できました。

<地域奉仕>

ワイズメンズクラブは、YMCAへの支援だけでなく、それぞれのクラブが独自に地域との関わりを持っています。神戸、神戸西クラブはシングルマザーを支援するNPOを応援しています。障がい者の絵描く「きらっと輝くアート展」も永年継続されています。高齢者、障がい者、児童支援の団体への支援も、それぞれのクラブが地域とのつながりの中で続けています。地域との関わりでは、市民クリスマスの企画運営に宝塚クラブは長年携わってきました。神戸学園都市クラブでは地域の自治会とともに清掃活動に参加しています。このほか、自然災害、紛争などの被災者への支援もYMCAを通して、あるいは直接に様々な形で続けています。(ここで示した活動はほんの一部であり、全て網羅したものでないことをお断りしておきます。)

<YYYフォーラム>

YMCA、ユースリーダー、ワイズとの懇親と相互理解、YMCAの活動理解に向けて、YYYフォーラムをYMCA会員、ユースリーダー、YMCAスタッフそしてワイズの協働で行いました。2024年度は「市ヶ原わいわいハイキング」、阪神淡路大震災から30年で、「その時あなたはどこで何をしていたか」と題してロール・プレイを行いました。野外、屋内と色合いの違う二つのプログラムでしたが、それぞれに良いひとときを過ごせました。この時間が、YMCA、ユース、ワイズの協働が一層深まることを願います。

神戸YMCA賛助会

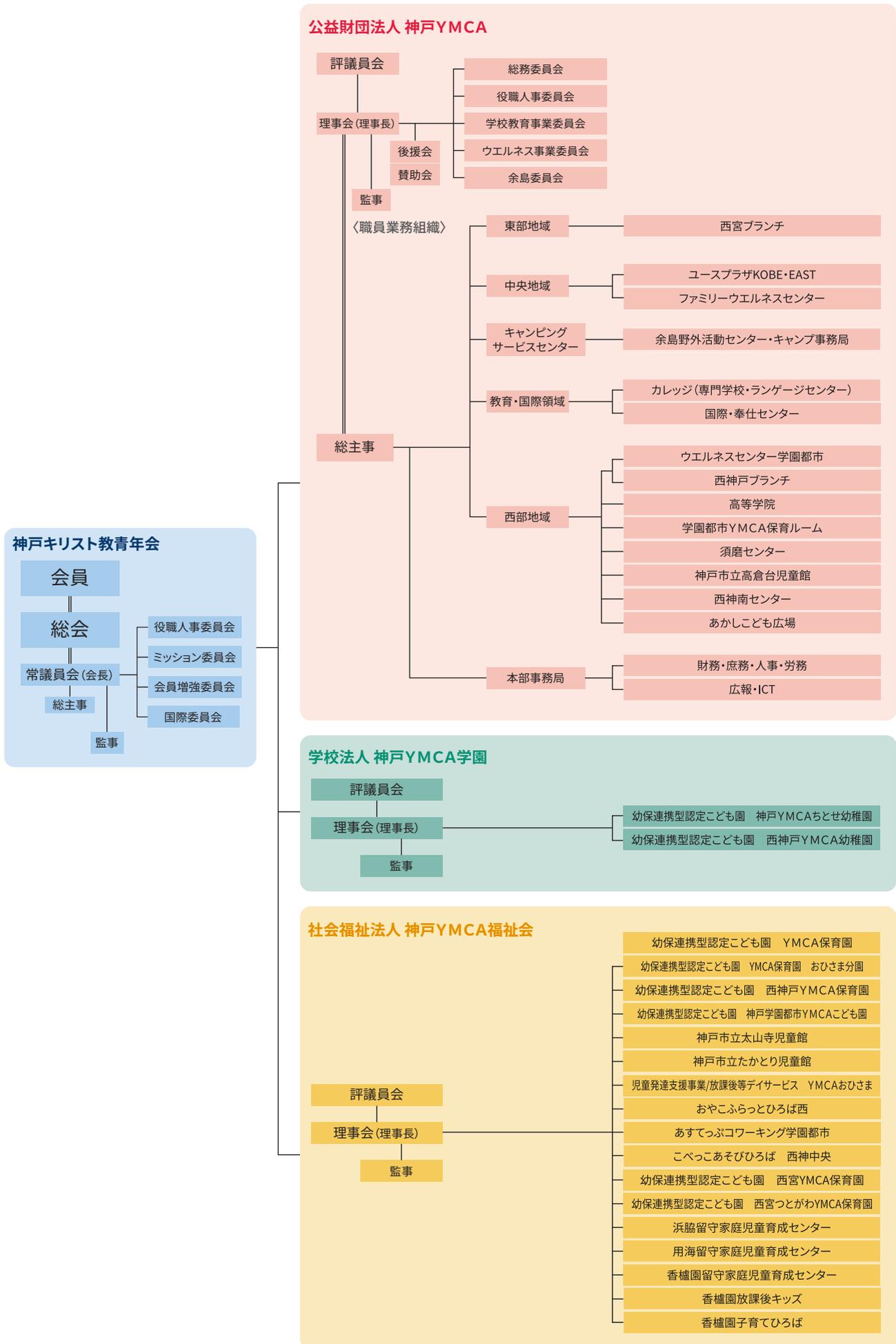
(敬称略・順不同)

神戸YMCA賛助会は、神戸YMCAが推進する青少年育成事業を財政的・精神的に支えてくださる多くの法人や団体で構成されています。多方面にわたるご支援・ご協力に心より感謝申し上げます。

田中工業株式会社
株式会社竹中工務店神戸支店
有限会社クレセントインターナショナル
白鶴酒造株式会社
兵庫トヨタ自動車株式会社
生活協同組合コープこうべ
損害保険ジャパン株式会社
社会福祉法人光朔会オリンピア
有限会社わかばやし印刷
不二熱学サービス株式会社
神戸キリスト教書店

エム・シーシー食品株式会社
株式会社神戸ポートピアホテル
菱三印刷株式会社
第一電子株式会社
株式会社イースター式典社
株式会社サンビルダー
神戸信用金庫
株式会社エーアンドディー設計企画
村田建設株式会社
株式会社みなと銀行
小倉サンダイン株式会社

株式会社ホテルニューアワジ
株式会社ドコモCS関西神戸支店
早駒運輸株式会社
株式会社夢舞台
株式会社長谷工シニアウェルデザイン
株式会社大林組神戸支店
大林ファンリティアーズ株式会社
総合警備保障株式会社
JTB神戸支店
株式会社長谷工コミュニティ
株式会社シミズテック



A. 公益財団法人 神戸YMCA会員状況

1) 会員種別 (2024年度)

維持会員	826
(うち総会構成員)	360

2) プログラム参加者数

18歳未満	5,211
18歳以上	1,640
合計	6,851

3) 賛助会

賛助会	32
-----	----

4) 役員・指導者・職員

●役員 (2024年度)

公益財団法人理事	10
公益財団法人監事	2
公益財団法人評議員	12
名誉理事	1
学校法人理事	8
学校法人監事	2
学校法人評議員	17
社会福祉法人理事	6
社会福祉法人監事	2
社会福祉法人評議員	8
キリスト教青年会常議員	15
キリスト教青年会監事	2
事業委員	66
合計	151

●職員 (2024年度)

主事職	21
事務職	5
講師職	8
一般職	1
嘱託	7
嘱託専任講師	10
嘱託準専任講師	29
合計	81

(出向者除く)

B. 学校法人 神戸YMCA学園在籍者数

(2024年度)

ちとせ幼稚園	119
YMCAちとせ保育ルーム	7
西神戸YMCA幼稚園	203

●職員

主事職	4
事務職	2
一般職	0
教諭	21
嘱託教諭	22
嘱託職員	3
合計	52

C. 社会福祉法人 神戸YMCA福祉会在籍者数

(2024年度)

YMCA保育園	160
西神戸YMCA保育園	86
神戸学園都市YMCAこども園	94
西宮YMCA保育園	73
西宮つとがわYMCA保育園	73
太山寺児童館・小寺コーナー	174
たかとり児童館	80
YMCAおひさま	62
用海留守家庭児童育成センター	124
浜脇留守家庭児童育成センター	134
香櫛園留守家庭児童育成センター	181

●職員

主事職	12
事務職	2
一般職	5
保育士・栄養士	101
嘱託	36
合計	156

レイパーソン (ボランティア役員)

(2025年4月1日現在)

■神戸キリスト教青年会

会 長	中道 基夫								
副 会 長	清水 泰人								
常 議 員	家山 華子	岩井 義矢	上杉 徹	小澤 昌甲					
	塔田 直文	長井 慎吾	中尾 秀一	馬場 一郎					
	秀平 悠磨	藤田 裕	美崎 晋	吉田 昌義					
監 事	藤井 久子	安行 英文							
ミッション委員	塔田 直文(関)	有友裕美子	片岡 正義	西本 玲子					
	原 真和	寺崎 真	村田奈緒美						
会員増強委員	秀平 悠磨(関)	石井 恭子	上杉 徹	大野 勉					
	河野 彰	須貝 春香	美崎 晋						
国際委員	東 恭子(関)	坂西 卓郎	高月 渚	四宮 捷平					
	中尾 秀一	廣瀬 献児	細見 佑子	山内 慎平					
	Ronni Alexander								
役職人事委員	中道 基夫	清水 泰人	井出 浩	川崎 孝子					
	馬場 一郎	吉田 昌義	小澤 昌甲	西田 勉					
	岩井 義矢	谷川 尚	齊藤 靖	小寺 隆志					
	大塚 永幸								

■公益財団法人 神戸YMCA

理 事 長	中道 基夫				
副理事長	清水 泰人				
専務理事	小澤 昌甲				
常勤理事	西田 勉				
理 事	井上 和彦	川島 恵美	進藤 啓介	山形 謙二	
	川崎 孝子				
監 事	山野 和彦	中尾 秀一			
評 議 員	鶴丹谷 剛	小栗 献	近藤 弘人	坂西 卓郎	
	鈴木 光子	塚本 潤一	坪川 武司	松本 聡子	
	渡邊 智明	岩井 義矢	古野 雅己	山根 泉	
名誉理事	武田 寿子				
学校教育事業委員	濱瀬真知子(関)	岩野 祐介	岩本 哲人	上谷 円	
	海老 直人	栗原 由香	中出 恵子	松本 聡子	
	西田 勉				

ウエルネス事業委員

	高見 彰(関)	小野 昌二	進藤 啓介	白坂 大輔
	船越 達也	矢野 琢也		
余島委員	川島 恵美(関)	荒木 真一	猪飼 政昭	鶴丹谷 剛
	小栗 献	川島 憲志	島田 恒	坪松 博之
	馬場 貴英			
役職人事委員	中道 基夫	清水 泰人	井出 浩	川崎 孝子
	馬場 一郎	吉田 昌義	小澤 昌甲	西田 勉
	岩井 義矢	谷川 尚	齊藤 靖	小寺 隆志
	大塚 永幸			
総務委員	中道 基夫	清水 泰人	進藤 啓介	小澤 昌甲

■学校法人 神戸YMCA学園

理 事 長	小澤 昌甲			
常務理事	山田 浩介			
理 事	上杉 徹	熊谷 親啓	鈴木 光子	原 寛
	藤井 久子			
監 事	森 章一	中村 豊		
評 議 員	熱田 大輔	上杉 徹	兼田 幸子	熊谷 親啓
	笹本 栄作	鈴木 光子	高田 裕之	高橋 秀典
	原 寛	藤井 久子	柳本 有二	山田 浩介
	山ノ井景子	山本 義和		

■社会福祉法人 神戸YMCA福祉会

理 事 長	小澤 昌甲			
常務理事	谷川 尚			
理 事	丹家 元陽	吉田 昌義	植村 篤子	
監 事	馬場 一郎	山ノ井景子		
評 議 員	廣瀬 一雄	丹羽 和子	前田 隆	山口 宰
	藤田 裕	清水嘉津子	布村 志保	柳谷 利起
	石井 恭子	金坂 尚人		
運営委員	井出 浩	松本 正史	倉石 哲也	

中道 基夫会長・公益財団法人理事長

(公財)日本YMCA同盟協議会 (神戸YMCA選出代議員)
 (公財)日本YMCA同盟 (理事)
 (学)御影教会学園 群華幼稚園 (評議員)
 (社福)聖和福祉会(聖和乳幼児保育センター) (理事長)
 (学)神戸平安教会学園(ランバス記念幼稚園) (理事)
 (社福)聖和共働福祉会(大阪聖和保育園) (評議員)
 (学)関西学院 (理事・評議員)
 日本基督教学会 (理事)

武田 寿子名誉理事

NPO法人スペシャルオリンピックス日本・兵庫 (理事)
 (社福)オリンピア (理事)

水野 雄二名誉主事

(学)頌栄保育学院 (理事)
 (学)星陵学園 (理事)
 (公財)PHD協会 (理事長)
 (社福)神戸聖隷福祉事業団 (理事長)
 (社福)神戸いのちの電話 (理事長)
 日本キリスト教社会事業同盟 (副理事長)
 (社福)夢工房 (評議員)

上杉 徹さん

(公財)日本YMCA同盟協議会 (神戸YMCA選出代議員)

高月 渚さん

(公財)日本YMCA同盟協議会 (神戸YMCA選出代議員)

井上 真二顧問**<教育、地域活動関係>**

兵庫県教育委員会 (委員)
 (公財)兵庫県青少年本部 (評議員)
 神戸市社会教育委員会 (委員)
 ひょうご不登校対策推進協議会 (委員)
 兵庫県青少年団体連絡協議会 (代表理事)

<国際関係>

(公財)PHD協会 (評議員)
 日本国際連合協会兵庫県本部 (常任理事)

<福祉関係>

兵庫県福祉部社会福祉審議会 (委員)
 (公財)ひょうご子どもと家庭福祉財団 (評議員)
 (社福)神戸いのちの電話 (評議員)
 (社福)光朔会 (評議員)
 (社福)ひょうご障害福祉事業協会 (評議員)

小澤 昌甲総主事**<日本YMCA関係>**

日本YMCA同盟協議会 (神戸YMCA選出代議員)
 全国YMCA戦略会議 (委員)
 全国YMCA教育・保育事業部会 (担当総主事)
 国内協力委員 (委員)

<地域活動関係>

生活協同組合コープこうべ (理事)
 賀川記念館コア100 (委員)

<福祉関係>

神戸市子ども・子育て会議 (委員)
 神戸市子ども・子育て会議 教育保育部会 (委員)
 神戸市児童虐待・非行防止協議会 (委員)
 (公社)神戸市私立保育園連盟 (理事)
 (社福)松蔭ミカエル福祉会 (理事)
 (社福)頌栄会 (監事)
 (公財)こども財団 (評議員)
 (社福)聖ミカエル福祉会 (評議員)
 (社福)神戸市社会福祉協議会 (評議員)

西田 勉主事

(社福)兵庫県社会福祉協議会 (理事)
 (社福)兵庫県共同募金会 (評議員)
 (公財)こうべ市民福祉振興協会 (理事)
 海外災害援助市民センター(CODE) (理事)

谷川 尚主事

全国YMCA教育・保育事業部会 (役員)
 全国YMCA発達支援事業部会 (役員)
 西宮市子ども・子育て会議 (委員)
 神戸市発達障害児(者)支援連絡協議会 (委員)
 神戸市発達の気になる子どもの支援体制検討会議 (委員)
 (社福)イエス団 (評議員)
 (公財)ひょうごコミュニティ財団 (評議員)
 (社福)聖和福祉会 (第三者委員)

齊藤 靖主事

全国YMCA総務担当者会 (役員)
 コープともしび財団 (理事)

小寺 隆志主事

兵庫県青少年団体連絡協議会 (理事)
 神戸市青少年育成協議会 (委員)
 神戸市ユース賞選考会 (委員)

藤田 良祐主事

(学法)御影教会学園群華幼稚園 (理事)

山田 浩介主事

神戸市立高倉台小学校 (評議員)
 (学法)星陵学園 (評議員)

阪田 晃一ディレクター

兵庫県キャンプ協会 (理事)
 NPO法人Leave No Trace Japan (理事)

中道 愛子ディレクター

全国YMCA日本語事業部会 (役員)
 兵庫県ユニセフ協会 (理事)

本山 哲也ディレクター

兵庫県青少年団体連絡協議会NS会議 (委員)

水野 宏明ディレクター

全国YMCAアフタースクール事業部会 (役員)
 神戸市民間児童館協議会 (副会長)

奥田 慎司ディレクター

全国YMCA公益協働担当者会 (役員)

古谷 菜穂ディレクター

全国YMCA専門学校部会 (役員)

神戸YMCA活動拠点



神戸YMCA三宮会館
(本部事務局)
神戸YMCAカレッジ
(専門学校、ランゲージセンター、国際・専任センター)
〒650-0001
神戸市中央区加納町2-7-11
☎(078) 241-7201 (本部事務局)
(078) 241-7203 (神戸YMCAカレッジ)



**神戸YMCAファミリー
ウエルネスセンター**
〒651-0072
神戸市中央区脇浜町2-10-21
☎(078) 241-7202



西神戸YMCA会館
(ウエルネスセンター・学園都市、西神戸YMCA)
神戸YMCA高等学院
〒651-2102
神戸市西区学園東町2-1-3
☎(078) 793-7401
(ウエルネスセンター・学園都市)
☎(078) 793-7402 (西神戸YMCA)
☎(078) 793-7435 (神戸YMCA高等学院)



**学園都市YMCA
保育ルーム**
〒651-2102
神戸市西区学園東町2-1-3
☎(078) 794-3045



余島野外活動センター
〒761-4100
香川県小豆郡土庄町字余島
☎(0879) 62-2241
キャンピングサービスセンター
〒650-0001
神戸市中央区加納町2-7-11
☎(078) 241-7216



**西宮YMCA
西宮YMCA保育園**
〒662-0977
西宮市神楽町5-23
☎(0798) 35-5987
(0798) 35-5992 (保育園)



**西宮つとがわYMCA
保育園**
〒663-8233
西宮市津門川町2-14
☎(0798) 26-1016



**須磨YMCA
神戸YMCAちとせ幼稚園**
〒654-0081
神戸市須磨区高倉台4-12
☎(078) 734-0183
(078) 732-3542 (幼稚園)



神戸市立高倉台児童館
〒654-0081
神戸市須磨区高倉台1-2-1
☎(078) 733-6844



**西神戸YMCA
西神戸YMCA幼稚園**
〒651-2243
神戸市西区井吹台西町4-5
☎(078) 993-1560
(078) 997-7705 (幼稚園)



YMCA保育園
〒651-2103
神戸市西区学園西町5-4
☎(078) 794-3901



**YMCA保育園
おひさま分園**
〒651-2103
神戸市西区学園西町7-2-1-101
☎(078) 794-4080



西神戸YMCA保育園
〒651-2103
神戸市西区学園西町1-1-2
☎(078) 792-1011



**神戸学園都市YMCA
こども園**
〒651-2102
神戸市西区学園東町2-1-3
☎(078) 791-2955



**児童発達支援事業/
放課後等デイサービス
YMCAおひさま**
〒651-2102
神戸市西区学園東町2-1-3
☎(078) 793-9077



神戸市立太山寺児童館
〒651-2103
神戸市西区学園西町5-2-3
☎(078) 794-4790
(指定管理者)



**神戸市立たかとり
児童館**
〒654-0037
神戸市須磨区行平町2-2-17
☎(078) 735-6230
(指定管理者)



**おやこふらっと
ひろば西**
〒651-2273
神戸市西区糶台5-4-1
神戸市西区役所3階
☎(078) 939-4530
(運営主体)



**こべっこあそびひろば
西神中央**
〒651-2273
神戸市西区糶台5-6-1
西区文化センター1階
☎(078) 964-5808
(指定管理者)



あかしこども広場
〒673-0891
明石市大石町1-6-1
パピオスあかし5階
☎(078) 918-6371
(コープこうべと共同)



**ユースプラザ
KOBE・EAST**
〒658-0054
神戸市東灘区御影中町3-2-1
御影クラッセ4F
☎(078) 891-8222
(運営主体)



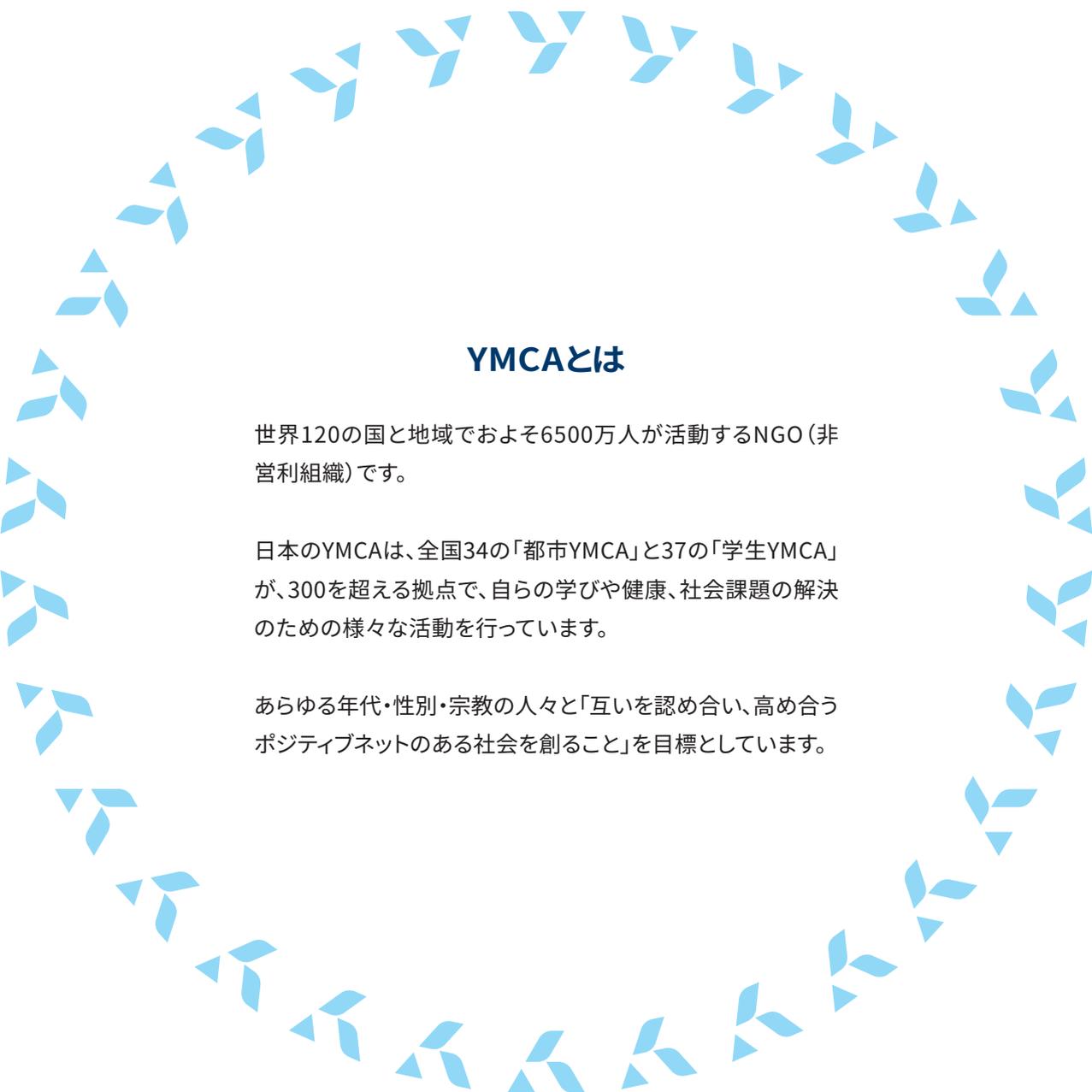
**西宮市香櫛園留守家庭
児童育成センター
子育てひろば/放課後キッズ**
〒662-0952
西宮市中西浜町3-32
☎(0798) 33-0214
(指定管理者)



**西宮市用海留守家庭
児童育成センター**
〒662-0921
西宮市用海町3-54
☎(0798) 35-1522
(指定管理者)



**西宮市浜脇留守家庭
児童育成センター**
〒662-0941
西宮市浜脇町5-48
☎(0798) 34-1444
(指定管理者)



YMCAとは

世界120の国と地域でおよそ6500万人が活動するNGO(非営利組織)です。

日本のYMCAは、全国34の「都市YMCA」と37の「学生YMCA」が、300を超える拠点で、自らの学びや健康、社会課題の解決のための様々な活動を行っています。

あらゆる年代・性別・宗教の人々と「互いを認め合い、高め合うポジティブネットのある社会を創ること」を目標としています。

神戸YMCA

〒650-0001 神戸市中央区加納町2-7-11